

かさま 社協だより

No.29



編集・発行 2016.3.31

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp URL http://www.kasama-syakyo.jp/



このときがいちばん幸せ 小嶋家(笠間地区)

撮影 横堀

も く じ

- ① 地域の相互理解を深めます 2～3
- ② 合同餅つき会 4
ふれあい訪問事業を実施しています
- ③ 三世代同居の秘訣 5
ちょっといい話・在宅福祉サービス
- ④ ボランティアセンターだより 6～7
- ⑤ お知らせ 8



この広報誌は共同募金の配分金を受けています。

笠間市社会福祉協議会（以下社協）は、笠間地区・友部地区・岩間地区にそれぞれ支部地区社協が設立されており、地区毎に構成も違っています（地図参照）。また、地区毎に地域の実情に応じた独自の福祉活動も行なっています。支部地区社協が抱えている現状や今後の課題などを紹介します。

昨年7月、笠間市支部地区社協運営連絡協議会が発足しました。各支部の活動や抱えている課題などを率直に意見交換し、互いに協力し合える組織ができあがりました。

「誰もが安心して暮らせる地域社会」の構築に向けて、運営連絡協議会が活発に活動することを期待しましょう。

支部（地区）社協ってなに？

支部地区社協の目的

支部地区社協は、住民自身が自分たちの住んでいる地域における生活課題（福祉ニーズ）を自分たちの問題として捉え、問題解決に向けて活動を推進していく住民の自主的な組織であり、福祉コミュニティの中心的な役割を果たします。

支部地区社協と市社協の関係

支部地区社協は、市社協の下部組織ではなく、住民主体の組織であることから、共に地域福祉活動をすすめる対等な関係を築くパートナーとして位置づけられています。

なお、市社協は全地域を活動エリアとする一方、支部地区社協は、住民にとって一番身近な生活圏（生活の場）である小地域を基盤として、生活課題の把握や課題解決に向けたさまざまな地域福祉活動を展開します。

また、市社協は支部地区社協に対し、さまざまな活動に必要な財政支援をはじめ、地域福祉活動を展開する上での情報提供、支部地区社協間の連絡調整（支部地区社協運営連絡協議会）などによる支援をします。

友部地区



笠間市支部地区社協
運営連絡協議会
副会長 伊東 勝男

友部地区の社協は、地域の実情に応じた福祉活動を進めるため、昭和53年から小学校区を単位とした6支部（大原・東・中央・大旭・北川根・大原）が結成された。

主な事業として児童対象（地区懇談会・通学見守り・三世代ふれあい等）高齢者対象（グラウンドゴルフ・ひとり暮らし高齢者への配

食・サロン等）地域交流（桜まつり・運動会等）女性部活動（配食食事作り・福祉バザー等）支部広報紙発行（3・4回/年）等支部の実情に合わせた個性あるものに工夫されている。

そして会員の活動水準向上のため、先進的な活動に取り組んでいる社協への視察研修会などを行っている。各支部とも結成後35年を超え事業のマンネリ化と役員の高齢化、世代交代が進まないという問題がある。

今後とも支部社協の目的を会員に発信しつつ活動内容の向上を図っていききたい。

互理解を ます

地域の相 深め

この会は、各地区の支部地区社協運営委員会の正・副委員長9人で構成し、各地区支部地区社協活動の情報交換などを行い、住み良い地域づくりを推進することを目的としています。それぞれの支部地区社協は特徴のある活動を行っています。様々な課題を

抱え方向性を模索しています。地域性や構成員など支部地区社協のスタイルは違っていますが、「誰もが安心して暮らせる地域社会」を築きたいとの願いは共通の思いです。昨年7月に発足した会ですが、支部地区社協間の連携強化、情報交換、支部地区社協活動研究集会の開催等を行い、より身近な地域での福祉意識の向上を図れる様活動します。

笠間市支部地区社協運営 連絡協議会発足にあたって

【笠間地区】
9支部3地区社協が設立されています。



【友部地区】
小学校区ごとに支部社協が設立されています。

【岩間地区】
9地区社協が設立されています。

笠間地区



笠間市支部地区社協
運営連絡協議会
会長 黒沢 政男

笠間地区は、9支部3地区の12組織から構成されており、地域の特色として、盆地の為冬寒く、夏暑くと寒暖の差がある気候になっております。

地域に密着したより良い活動を模索しながら誰もが安心して暮らせる地域社会を実現することを目的として、地域ごとにそれぞれ活動している所です。現実社会の少子高齢化は避けて通ることは出来ないで、この

状況にどう対応していくかが大変重要となっており、地域の各組織団体と連携を図り、自分たちの住んでいる地域に住み続けたい「まち」にしようという地域ぐるみで活動しています。皆さんで支え合いお互いを理解し、より良い関係を保ちながら「この地域に住んで良かった」という安心感に包まれて生活できる地域作りを目指しています。また私たちが抱える生活課題を自分たちで解決できるように地域に向かつて、これまでの成果と現況等を集約し皆さんと一緒に取り組んでいる所です。

岩間地区



笠間市支部地区社協
運営連絡協議会
副会長 中村 彦藏

岩間地区の社協組成については、当初、18地区（旧町民運動会のチーム数）程度の規模で進める方針だった。

その結果、一地区単独のものを含めて、現在9地区社協が設立された。社協組成への課題はいくつかあるが、主なものは次のとおりである。

1 区長のリーダーシップが必要なのに、区長の在任期間が短く（1年の区が増加）、

複数区規模の社協組成には時間がかかるので、中期的な計画の障害になっていること。

2 社協組成に対する市民の理解が不十分であること。

3 各区の役割分担のなかで、役職が多様化し（自主防災等）、役員を増やすことととまどいがあること。

それぞれの課題は、各区の実情に合わせて解決する他はないが、地域の絆となる地区社協づくりに積極的に取り組んでほしいと期待している。

そのために、岩間支所と協力の上、既存の社協メンバーによる支援体制をつくって、新規組成に尽力していききたい。

平成28年1月30日、笠間市支部地区社協運営連絡会主催の「平成27年度 支部地区社協活動研究集会」が、荒天により中止されました。

代表支部の発表や講演内容などの報告をおこなう予定でしたができませんでした。

今年度は、来年度の支部地区社協活動研究集会で発表される予定です。

今回は、笠間市支部地区社協の活動の様子をお知らせしました。各支部地区社協の抱えている現状や課題をご理解いただけたでしょうか。

支部地区社協の福祉活動に参加しませんか。参加ご希望の方は、各地区の社協にご連絡をお願いします。（高野）

笠間市障害福祉センター 合同餅つき会

小正月が過ぎ、大寒を迎えた1月22日、お天気にも恵まれ、たけのこ・あおぞら合同の餅つき会が実施されました。毎年恒例の行事で、利用者の方もとてもしみじみとお餅の作業のときは違った嬉しそうな表情を見ることが出来ました。



みんなで「よいしょ」

「よいしょ！」と元気な声が響き、同時に職員が持つ杵が振り下ろされます。時々利用者の方と交代しながら、「べったん、べったん」と餅をつく姿は本当に楽しそう



保護者の協力をえて

でした。

保護者の方々の協力もあり朝からけんちゃん汁や餅に合わせるものをたくさん作っていただき、大満足の会となりました。

利用者の方からは「つきたての餅最高！」「けんちゃん汁がおいしかった」また、保護者からは「家で食べないものも皆と一緒に食べることが出来るのか違う一面が見られて良かった」など喜びの声を聞くことも出来ました。

お達者倶楽部利用者の方々をお招きして、一緒においしいお餅をいただきました。

利用者の方にお伺いすると、あんこ味が一番人気で、続いてけんちゃん汁、磯辺焼きでした。

ひとり暮らし高齢者 ふれあい訪問事業を実施しています

笠間市内には70歳以上のひとり暮らし高齢者が、約1600人おられます。そのひとり暮らしの高齢者の皆さんを対象に、地域の民生委員が各家庭を訪問し「見守り」ところのふれあい」を図る事業です。訪問先で会話をすること、日頃の生活の不安や悩みを聞き、地域で孤立することのない安心した暮らしが



ひとつひとつに心をこめて

くれる地域福祉を目指すために平成26年から実施しています。

本年度は市ボランティア連絡協議会の多くのボランティアのご協力をいただき、ひとつひとつ心をこめて編みあげた「いちごの花」のアカリルたわしと市内各小学校児童から寄せられたメッセージカードを添え、お届けしました。今年編んだいちごの花は3300個を越えています。

カラフルなプレゼントに、お届けした民生委員や各小学校、そして社協事務局などへ感謝のお手紙やお電話などが寄せられております。

また昨年度は寄付していただいた布を利用し、ひざ掛けやランチョンマットなどに対応できるマルチマットを約1500人にお届けしました。

お礼の声を紹介します

- ・メッセージをありがとうございました。元気をありがとう！
- ・手づくりのアカリルたわしや小学生のメッセージをありがとうございました。社協は温かいですね。
- ・昨年と今年もお心遣いに感謝しております。



こころ温まるメッセージ

三世代同居の秘訣

一日降った雪が若干残る1月31日(日)の午後に、笠間地区大洲地内の小嶋家ご家族を訪問取材させていただきました。(表紙写真)

ご家族は、幸一さん(77歳)、芳子さん(73歳)ご夫妻、息子さんご夫妻の修一さん(44歳)、優子さん(39歳)、及びお孫さんの綾さん(12歳)、公貴さん(8歳)の3世代6人が同居しています。

小嶋家は、兼業農家で、幸一さんは自動車販売の営業マンでしたが、17年前に定年退職され、その後農業共済役員に10年、神社総代に8年従事され、現在も農業の傍ら、バ



ス会社にも勤めています。

芳子さんは、幸一さんが営業マンだった時は、職種の関係から、町内会の行事に出席出来ない場合が多々あり、代わりに参加する機会が多く、苦労されたとのこと。

幸一さんは、年数回の旅行(OB会ほか)や、お孫さんの成長を、芳子さんは、ボタニカルアート(植物学的な絵画)や、草花づくりなどを楽しみにしています。

息子さんの修一さんは、建設会社に勤めています。忙しいため、週一回の休みが待ち遠しいとのこと。

お嫁さんの優子さんは、みんなで行くドライブが、お孫さんの綾さんは、マンガを読

んだり、公貴さんは、テレビゲームをすることを楽しみにしています。

なお、幸一さんのお父さんは病弱で、結婚後は奥さんに助けられ、困難を乗り越え今は感謝でいっぱい。

三世代同居の秘訣は、「何事も話し合って物事を決め、隠し事をしないこと」また、お嫁さんのことは「娘」として接している」と話されていました。なお、息子さんご夫妻は、両親の誕生日と、父の日・母の日に毎年プレゼントを贈っているとのこと、この辺りも三世代同居の秘訣かなと思います。

取材を終えた時、「子供は親の作品です」と話された言葉が印象的でした。(内桶)



芳子さんのボタニカルアート作品

元気いこぼい

ちよつといい話

高齢者に多い認知症は、脳の疾患によって生じる病気です。疾患予防には

- ・1日30分の緩急歩行が脳を活性化します。
- ・人と一緒に過ごしやすい嬉しいことが脳の記憶力を高めます。
- ・新しい経験や趣味を持つことで、知的好奇心が増加し脳の栄養素となります。

在宅福祉サービス

在宅福祉サービスは「困った時はお互いさま」の精神で地域に住む人が安心して生活できるように、家事や育児などのお手伝いをする有償サービスです。今年度の基礎研修会で7人が登録し、新協会員となり活動をスタートしました。その中から、入会したきっかけや活動を通しての感想を寄せていただきました。

◆施設で働いていた経験を活かし、利用会員さんの笑顔を少しでも引き出せたら良いなと思って登録しました。

サービスのしくみ



在宅福祉サービスセンター

TEL 0296783339



このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。



妖怪体操→

楽しいお昼をすませた午後、体験型レクリエーションの始まりは、小松崎さんの演技とシルバート体操指導士の方々の妖怪体操です。笑顔いっぱい



小松崎さんのチンドン太鼓

まず昼食の準備は朝早くから男性中心にスペシャル焼きそば作りを、あったかいけんちん汁は女性達の担当。そのほかに揚げたてのカレーパンと手作りの栗蒸し羊かん、すごい昼食ですね。参加者みなでながやかなうれしい時間を過ごしました。

友部支所
3/30

ボランティア大集合 グラウンドゴルフ大会

仲間づくり125人参加

三地区のトップをきつて、輪投げ大会を行いました。昨年度、「また参加したいね」の声を受け本年度は40チームに分かれ日頃交流ができないサークルの皆さんとも楽しく行うことができました。二回目ということで、いろいろところで工夫が凝らされ、「笠間」は輪投げがボランティアの皆さんの交流の場として定着しつつあります。

現地チャンドクチ小学校では、学校が休みにもかかわらず、校長先生はじめ先生方、



奨学金を受けている小中高生と一緒に

ボランティア

住みよいまちづ

センターだより

くりを目指して

岩間支所
1/29

「恵方巻づくり」は、小澤管理栄養士が講師として事前に用意した七種の具材（玉子焼・かんぴょう煮・しいたけ煮・ほうれん草・おぼろ・紅しょうが・人参）を、巻きすのせたのりと酢飯に巻くという楽しい作業である。

ボラ連岩間支部会長
久保田 満子

平成27年度 ボランティア連絡協議会交流会

各支所ごとにボランティアの仲間づくりや交流を深めています。

で手足を動かしました。歌に合わせた手話も見よう見まねでがんばりました。最後は「レクリエーション岩間」のスカイクロスゲームです。参加者全員に折り紙のお雛様を用意してくださり、わいわいとにぎやかな時間を過ごしました。みなさんの笑顔にほっこりした一日でした。

笠間支所
9/29

だれもが参加 輪投げ大会

笠間市民体育館189人参加

三地区のトップをきつて、輪投げ大会を行いました。昨年度、「また参加したいね」の声を受け本年度は40チームに分かれ日頃交流ができないサークルの皆さんとも楽しく行うことができました。二回目ということで、いろいろところで工夫が凝らされ、「笠間」は輪投げがボランティアの皆さんの交流の場として定着しつつあります。

「福は内、鬼は外」と豆をまいて鬼を追い払い、南南東を向いて恵方巻をかぶりつきました。各支所でボランティア交流会が開かれました。岩間は「昼食は手作り」で、笠間は「輪投げ大会」を、友部は「グラウンド・ゴルフ大会」を、日頃交流できない皆さんと楽しみました。ナマステの会は、15年ぶりにネパールを訪れ、子ども達の学校の様子や卒業後の進路を聞くことができました。

2/2

東の方巻づくり講習会

岩間地区 中村 彦藏

節分の前日、2月2日（火）に岩間保健センターにおいて20人の参加で開催された。初めに、「節分」について、ボランティアセンターの小松崎さんから、節分行事等の詳しい解説があった。



3/1

介護のはなし

「岩間の伝説話」の語りを静聴した。「女人堂」は羽持さんが、「愛宕山の十三天狗」は仲田さんが、方言を混ぜてしめじみと語り、異様な雰囲気をもたらし出している感動的なひとときとなった。一気食い咽ては祈る南南東



社協の介護保険事業所の岡野利江介護支援専門員を講師として「介護保険」について学習しました。20人の参加者は、介護保険申請から利用の仕方に至るまで、十数年たった介護保険事業の移り変わりなどを学習した後、質問となりました。●利用料の自己負担が1割から2割になる方が増えること。●介護用品や住宅修理などの介護に必要な費用について。時間がすぎても質問はとまることがなく、参加者が身近な問題ととらえて理解することができ、有意義な時間をすごすことができました。

『第一火曜日の会』これからの予定

4/5(火)	サービス付き高齢者向け住宅「一期一挙」見学会	10:00~11:30	現地集合(笠間市鯉淵)
6/7(火)	福祉体験 (シニア体験など)	10:00~11:30	岩間保健センター
7/5(火)	小物づくり	10:00~11:30	友部社会福祉会館

問い合わせ 笠間市社会福祉協議会ボランティアセンター TEL0296-78-2626 詳しくは広報かさま お知らせ版をご覧ください。

平成28年度 ボランティア講座の募集について

講座名	開催日時	開催場所	講座にむけて
手話奉仕員養成講座	5月10日~第1.3火曜日 午後1時30分~3時30分	友部社会福祉会館	日常会話の手話表現技術を習得してみませんか。
点 訳 講 座	4月~第1.3木曜日 午後2時~4時 4月~第2.4火曜日 午後1時30分~3時30分	友部社会福祉会館 市民センターいわま	点字にはどんなルールがあるのでしょうか。
傾 聴 ボ ラ ン テ ィ ア 講 座	6月16日、23日、30日木曜日 午前9時30分~12時30分 9月6日、13日、20日火曜日 午前9時30分~12時30分	友部社会福祉会館 社協笠間支所	相手の気持ちを受け入れ心を込めて聞くための学習です。

友部ボランティアセンター TEL0296-78-2626 FAX0296-78-2626
笠間支所 石井717 TEL0296-73-0084 FAX0296-72-3722
岩間支所 下郷5139-1 TEL0299-45-7889 FAX0299-45-6250

講座が決まり次第「広報かさま」に掲載します。

善意の寄附を「ありがとう!!」(善意銀行預託)

平成27年11月1日から平成28年2月29日まで(順不同・敬称略)

物 品

使用済み切手多数	岡本興業㈱、タカラ株式会社笠間工場、茨城福祉工場、加藤 薫、めぐみこども園、岩間第一幼稚園、青木 英男、(株)永山スポーツ笠間、勝山福美(稲田小学校)、本田㈱友部店、小山 陽子
エコキャップ多数	友部東特別支援学校、くるす保育所、さくら幼稚園、嶋 道夫、いわま保育園、岩間第一小学校、友部第二中学校JRC委員会、NPO法人なかよし学童保育の会岩間第一小学校児童クラブ、稲田幼稚園、県立中央病院(施設課・消毒室・リネン室)、稲田中学校、高齢者クラブ旭台地区、おしの保育園、イチカワユニオン岩間支部、下安福防犯パトロール隊、深澤 剛、大原小児童クラブ(ボプラの会)、すみれこども園、友部小学校児童会、土師地区社会福祉協議会、笠間工芸の丘、石井 敏夫、サンエツ工業㈱、いなだ保育所
エコキャップ、フルタブ多数	山中 正しい、額田 義文、花城会、鈴木石油店、小賢 友恵、(有)伊藤石材工業、柏井クラブ
フルタブ多数	佐白の館
使用済み切手300枚、未使用はがき1枚	川俣 きみ子
エコキャップ多数、使用済み切手多数	電化サロンカワチ河内 久子、稲田小児童クラブ、泰栄電器株式会社、てらざき保育所
エコキャップ多数、使用済み切手、使用済み記念切手多数	ナブコシステム㈱茨城支店、畔田 忍
アルミ缶、エコキャップ、使用済み切手多数	とちべ保育所
アルミ缶 フルタブ、エコキャップ多数	山田 こう
タオル1,000枚	いばらきコープ生活協同組合
紙おむつ多数	松村 宏樹、上野 明子、合同会社HOTT
雑巾多数	高齢者クラブ原宿会、豊谷 幸子
衣類多数(Tシャツ)	大化工業株式会社
布巾、雑巾、傘、衣類多数	山本 美子
手作りお手玉17個	河原井 真留子

手作りお手玉50個、チラシ箱多数	こうゆう会姫殿会
車いす5台	水戸ヤクルト販売㈱
米60kg	上郷地域うまい米づくり研究会
大根多数	羽持 正夫
サラダ大根 キャベツ11玉	㈱茨城生科研
聖護院大根、じゃがいも、米 多数	美留町 文男
使用済み切手多数、新品下着、未使用タオル、オムツ多数	匿名

金 銭

日本読書協会笠間支部	¥4,600
ニューサウンスオーケストラ	¥30,000
若葉会	¥7,191
笠間エス・シー協同組合	¥1,944
コマキエイABCアカデミーフラハーラウ	¥100,000
風間喜久枝	¥755
笠間市体育協会スポーツダンス部	¥10,000
加藤 薫	¥6,563
阿久津歌謡クラブ	¥50,004
笠間市高齢者クラブ連合会岩間支部女性委員会	¥30,000
太田 光子	¥22,800
寸劇ボランティア	¥3,743
笠間語り部の会	¥4,000
常陸県笠間地区花き部会	¥20,000
こみを考える会	¥3,000
こころの医療センターデイケア	¥2,201
友部読書会連合会	¥10,000
日本入れ歯リサイクル協会	¥11,853
匿名	¥85,932

平成27年度共同募金報告

赤い羽根共同募金 11,429,784 円
歳末たすけあい募金 9,319,822 円

お寄せいただきました募金は、地域福祉を支える重要な財源であり、多様な福祉活動に活用させていただきます。



広報委員11人の任期2年が終了しました。今期6回の発行では、各地区の元気なお年寄りや、三代・四世代のご家庭にもご協力いただきました。また、本所・支所を問わず、社協の様々な活動も紹介しました。1回の発行毎に4回程度集まり、無い知恵を絞りながらの作業でした。不十分な点はお詫びします。ありがとうございました。

(藤森)

編集後記

平成28年度 心配ごと相談所開設日程表

日常の困りごとなど何でも相談してください(無料・秘密保持)

時間: 13:00~16:00 (受付は15:30までをお願いします)

月	笠間支所 (毎週火曜日) 社協笠間支所	本 所 (毎週水曜日) 友部社会福祉会館	岩間支所 (毎週木曜日) 岩間保健センター
4月	5日・12日・19日・26日	6日・13日・20日・27日	7日・14日・21日・28日
5月	10日・17日・24日・31日	11日・25日	12日・19日・26日
6月	7日・14日・21日・28日	1日・8日・15日・22日・29日	2日・9日・16日・23日・30日
7月	5日・12日・19日・26日	6日・13日・27日	7日・14日・21日・28日
8月	2日・9日・23日・30日	3日・10日・17日・24日・31日	4日・18日・25日

法律相談 ※事前に心配ごと相談所へご相談ください。

笠間支所	本 所	岩間支所
第3金曜日 10:00~12:00 (1月のみ第4金曜日)	第1金曜日 10:00~12:00 (1月のみ第2金曜日)	第2金曜日 10:00~12:00 (1月のみ第3金曜日)

お問い合わせ先

社会福祉法人
笠間市社会福祉協議会

本 所 TEL 0296-77-0730 FAX 0296-78-3933
笠間支所 TEL 0296-73-0084 FAX 0296-72-3722
岩間支所 TEL 0299-45-7889 FAX 0299-45-6250